

おかわり! ひろしま米

ひろしま米は
ひろしま愛

プロジェクト

ひろしま米を
買う。

地元のお米を食べることは
広島の未来、
わたしたちの未来を守ること。



プロジェクト
紹介ページ



LINE友だち
募集中!!

普段の食生活において広島県産米を選んで地産地消
を心掛けることは、地元の食と農業や自然環境の保護、
広島の未来に貢献する郷土愛を示す行動です。

プロジェクトの歴史

2022年

10月 プロジェクト始動

10月15日 広島生まれの品種「あきろまん」を広島県民米とし、
10月15日を「あきろまんの日」として日本記念日協会に登録

10月15日 広島県知事表敬訪問

県内小学校での出前授業実施

2023年

県内小学校での出前授業実施

2024年

10月15日 「広島県民米 あきろまんの日」キャンペーン開催

11月6日 協働米卸と共同でひろしま米究極おむすび販売

県内小学校での出前授業実施

2025年

3月14日 「ごはんお米とわたし作文・図画コンクール」入賞作品
米袋デザインの商品販売

4月～ JAグループ広島とRCC共同のYouTubeチャンネル
「広島 農のチカラと未来の食のカタチ」開設

5月1日 JR西高屋駅(東広島市) 舎内デジタルサイネージへ
プロジェクト概要掲載

県内小学校での出前授業実施

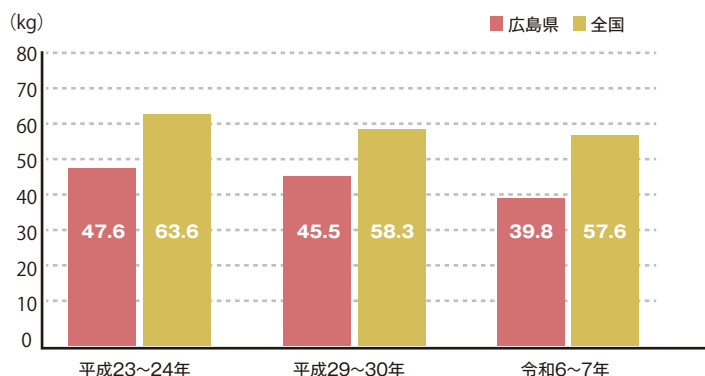
10月17日 「広島FM」9ジラジ「広島 食×農×未来ラジオ」出演

10月25日 「ひろしまフードフェスティバル2025」地産地消デリシャス大使のMachicoさん
・26日 プロデュースの「Machico米」の販売



広島のお米を選ぶことは、 地域の“いま”と“これから”を守ること あなたはお米をどれくらい食べていますか？

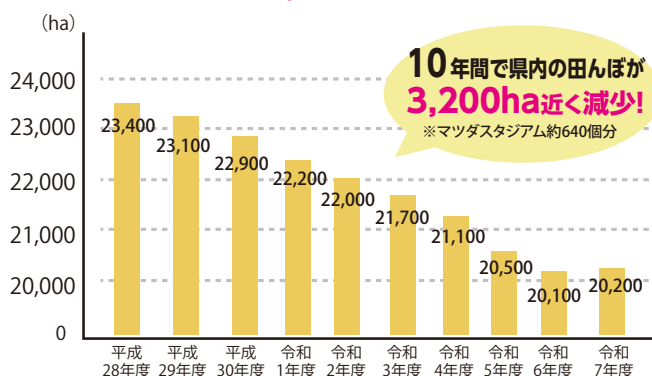
広島県と全国の米の消費量の推移



※農林水産省「基本指針」・総務省統計局「人口推移」を元に算出。

広島県の米（主食用）の稲作面積の推移

深刻な問題です！ | 広島県の農業・農家の現状



10年間で県内の田んぼが
3,200ha近く減少!
※マツダスタジアム約640個分



食べてもらえなければ、作らなくなります。

当然、農家も田んぼも減ります。



田んぼはお米の生産現場として食を支えるだけでなく、
暮らしにおいてさまざまな恵みをもたらします。

自然災害



土砂崩れなど未然に
防ぎます

食料自給率の向上



広島県の食糧自給率を上げ
安定した食の供給を
可能にします

伝統文化の継承



稲作を起源とした伝統的な
祭りや行事は生活文化を
守っています

自然な人間性を育む



農業の体験楽手に活用でき、
きれいな空気と自然豊かな
環境は安らぎを与えています

この恩恵は農業を営む地域はもちろん都市部まで広く行き届いています

農業を守ること、暮らしを守る

ひろしま米の消費量・生産面積の目標

令和6年

消費量 **107,795t**
生産面積 **20,100ha**

令和9年

消費量 **111,786t**
生産面積 **20,825ha**

※令和8年2月27日時点の広島県水田農業振興方針を基に設定

〈お問い合わせ〉 全国農業協同組合連合会広島県本部米穀部 TEL.082-431-3000